

## 読売新聞 きょう（10月4日）のイチ押し

### 1面・2面など 岸田内閣きょう発足

自民党の岸田文雄総裁は4日招集の臨時国会で第100代首相に指名され、同日中に内閣を発足させます。新内閣の全容が固まり、全20閣僚のうち13人が初入閣となります。

- ★ 入閣は従来、衆院当選5回からが順当と見なされてきましたが、当選3回組の牧島かれん氏をデジタル相、堀内詔子氏をワクチン担当相、小林鷹之氏を新設の経済安全保障担当相にそれぞれ抜てきします。
- ★ 茂木敏充外相と岸信夫防衛相は継続性を重視して再任し、萩生田光一文科相は経済産業相に横滑りさせます。重要ポストを主要派閥で固めるほか、総裁選で戦った野田聖子氏を少子化相に起用します。

### 社会面 第5波 地方も病床逼迫 「原則入院」維持できず

新型コロナウイルス感染拡大の第5波では、首都圏や関西に比べて感染者が少なかった地方の県でも、全感染者の入院か宿泊療養を原則とする方針を維持できなくなるケースが相次ぎました。専門家は、次の「波」に備えて地方でも自宅療養者への対策を強化すべきだと指摘しています。

- ★ 4～6月には10県が「自宅療養者ゼロ」を維持しましたが、第5波が本格化した7月以降は5県に減りました。この中には、入院調整中の感染者の急増により、実質的に自宅療養を容認した地域もありました。
- ★ 香川県は7月下旬から半月ほどで入院・宿泊療養の対象者が6倍以上に増えたため、無症状や軽症は自宅療養とする方針に切り替えました。累計感染者数が全国で2番目に少ない鳥取県も、一時は「全員入院」の原則を撤回していました。

#### 他紙と比べて

月2回、月曜朝刊に掲載する「すぐトレ」のページでは、手軽に始められるストレッチや筋トレなどの基本をお伝えしています。今回は「格闘技系エクササイズ」の前編（13面）。ボクシングの動きを中心としたトレーニング法を紹介しています（後編は10月18日付朝刊に掲載予定です）。